



ブユ(蚋):ハエ目ブユ科

関東ではブヨ、関西ではブト(約3~5mm)

・春に羽化、交尾後、水際に産卵。幼虫は溪流の岩の表面や水草に吸着し、3~4週間で口から糸を吐きそのまま水中で蛹、約1週間で羽化(汚染に弱い)。成虫は、積雪時を除き1年中活動、特に春から夏(3月~9月)。気温の低い朝夕に発生し、昼間はあまり活動しないが、曇りや雨など湿気が高いと、時間に関係なく活動する。

21

ブヨ対策

虫よけスプレー:
ブヨ(ブユ・ブト)専用のもの
例:スキンガードエクストラ
ハッカ油
⇒ハッカ臭が効果あり。

熱湯療法:45~50度の熱湯をシャワーなどで患部に数回当てると、毒であるタンパク質を熱で変質し、痒みがなくなると言われている。(※やけどをしないように)

※かくと腫れが引かなくなり、シミとして残る。塗り薬などは数秒のかゆみ止め。

噛まれたらすぐポイズンリムーバーで、毒を抜く。



23

- ・メスだけが吸血、
- ・皮膚を噛み切り吸血するので、多少の痛みを伴い、中心に赤い出血点や流血、水ぶくれ。
- ・唾液腺から毒素を注入、吸血直後はそれ程かゆみは感じなくても、翌日以降に(アレルギー、体質に関係)赤く膨れ上がり激しい痒みやはれ、発熱の症状が1~2週間程現れる。
- ・体質や咬まれた部位により腫れが1ヵ月以上のことも。
- ・多く吸血されると、リンパ管炎やリンパ節炎を併発したり呼吸困難などで重篤状態に陥ることも。



22

アブ

ウシアブなどのメスは、血を吸う。刺された瞬間、チクツという痛み。強いかゆみ、水ぶくれ。シオヤアブ等は攻撃的だが、幼虫も成虫も他の虫を積極的に捕食することから益虫の面も。



24